



2023年4月13日

各位

会社名：住江織物株式会社
代表者名：取締役社長 永田 鉄平
コード番号：3501 東証プライム市場
問合せ先：常務取締役経営企画室部長
薄木 宏明
(TEL 06-6251-6803)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年7月15日に公表しました業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 2023年5月期の通期連結業績予想の修正（2022年6月1日～2023年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2022年7月15日発表）	百万円 89,000	百万円 1,700	百万円 1,800	百万円 500	円 銭 78 86
今回修正予想（B）	94,000	1,100	1,300	200	31 55
増減額（B－A）	5,000	△600	△500	△300	—
増減率（％）	5.6	△35.3	△27.8	△60.0	—
（ご参考）前期実績 （2022年5月期）	81,713	110	950	281	44 44

2. 修正の理由

売上高は、為替が寄与することなどから2022年7月15日付でお知らせしました業績予想を上回る見込みです。一方利益面では、各事業において原材料・エネルギー価格および物流費の上昇について得意先への転嫁を進めておりますが、当期は少なからず影響を受ける見通しであること、また、自動車・車両内装事業において、日系自動車メーカーの生産計画台数減少による減収や中国国内での低調な日系自動車生産状況の影響を受ける見通しです。さらに、2022年11月17日付「当社の抗ウイルス商品の一部に関するお知らせ」に関連する商材について、抗ウイルス性能の有効性が確認されたものから順次開示しておりますが、その対応費用の計上などにより、営業利益および経常利益は当初予想を下回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益も、特別損失として、固定資産の譲渡に伴う当該土地に付随する建物、構築物等の有形固定資産の減損損失を計上したことから、当初予想を下回る見込みです。

※なお、2024年5月期計画につきましては現在集計中ではありますが、自動車・車両内装事業においては、懸案事項であった北米子会社の黒字化の目処が立ったことや日系自動車メーカーの生産台数回復および鉄道・バス関連での内装材需要の戻り、またインテリア事業での堅調な受注の見込みに加え、原材料・エネルギー価格の転嫁も進むことなどから、利益面は大幅に改善することを予想しております。

3. 2023年5月期の配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2022年7月15日発表)	円 銭 —	円 銭 35 00	円 銭 70 00
今回修正予想	—	20 00	55 00
当期実績	35 00	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年5月期)	35 00	35 00	70 00

4. 修正の理由

当社は、株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら、適正な成果の配分を実施することを基本方針としております。

しかしながら2023年5月期の期末配当金は、今回の通期業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ではあります。前回予想から15円減配の1株当たり20円に修正させていただきます。これにより年間の1株当たり配当金は、中間配当金35円と合わせまして55円となる予定です。

※上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上